

尚志高「劇王」に輝く 白河で短編演劇のプレ大会

日本劇作家協会の短編演劇競技大会の高校生版「ハイスクール劇王」のプレ大会は7日、白河市民会館で開かれ、尚志(郡山市)が「劇王」に輝いた。

尚志のほか、光南(矢吹町)、白河実(白河市)、葵(会津若松市)が出場した。部員らが自ら脚本や演出、音響などを手掛け、手作りの舞台を繰り広げた。尚志は高校生同士の友情を題材に身近にある大切なものに気付く様子を描き、審査員の採点、観客投票のいずれも高く評価された。

審査員の佃典彦さんが劇王と書かれた白河だるまを尚志演劇部の鈴木聖弥部長(2年)に贈った。鈴木部長は「本番に強い尚志らしさを発揮できた。来年も劇王を取りたい」と喜んだ。

大会は演劇を通じた地域活性化を目的に、全国で初めて開催された。来年、第1回県大会が開かれる予定。

(2015年3月8日 福島民友ニュース)



「劇王」に輝き喜ぶ尚志の鈴木部長(左)